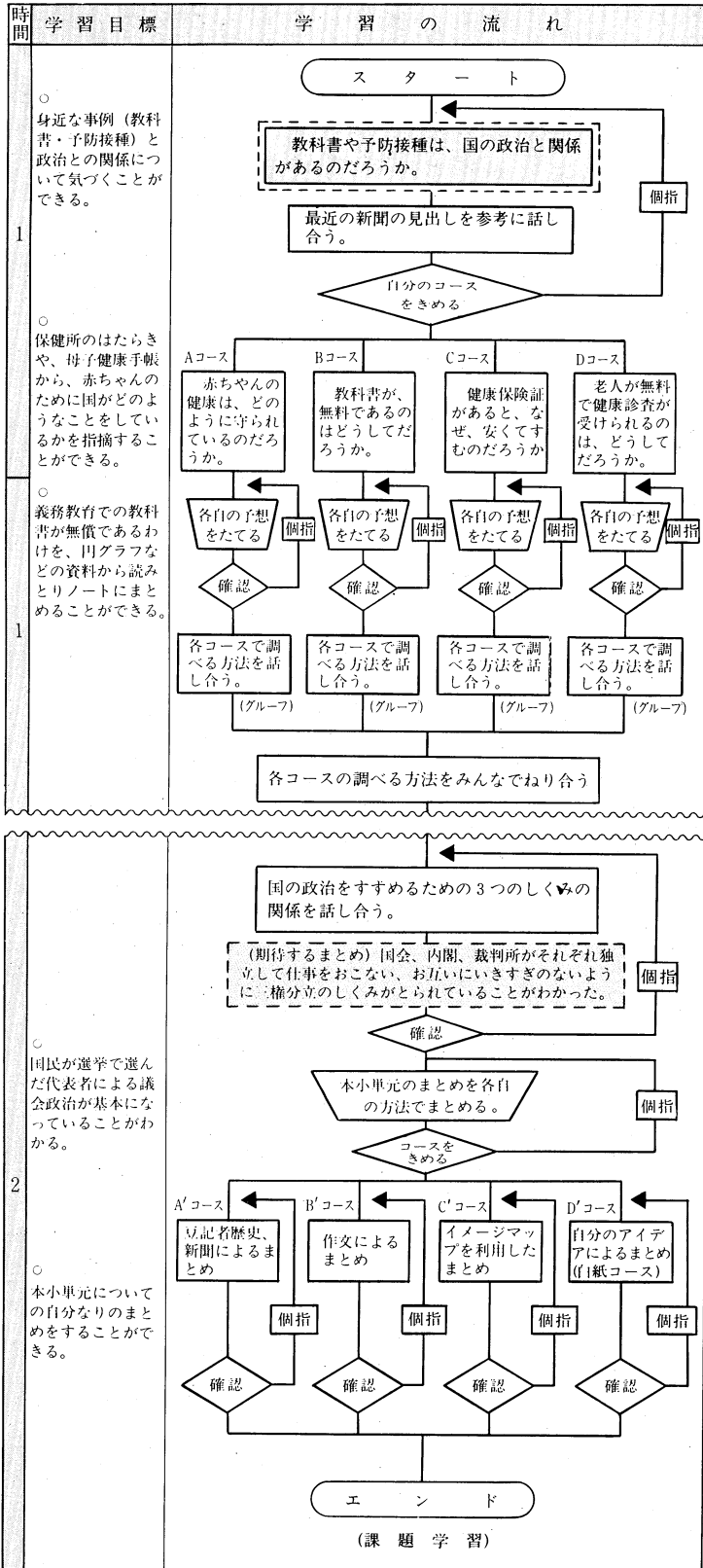


資料1 「わたしたちの生活と政治」 指導計画 (総時数8時間)



ととらえた。

(4) 「追究意欲」

歴史上の人物や社会的事実に対してその子なりに抱いた疑問を、事実、事象の關係に注目しながら、グループ学習、全体学習の中で解決していこうとしたり、もっと深く考えていこうとすることとらえた。

三、研究の計画 (省略)

四、実践内容

(一) 小單元指導計画の見直し

昭和五十九年度に実施した二つの小單元指導計画(新しい工業地域・「伝統的な工業」)を取り出し、児童の興味・関心を高めるとして視点から、問題点を洗い出してみた。(資料略)

(二) 追究活動を促す小單元指導計画の作成

小單元の指導計画に児童の興味・関心別による選択学習を取り入れた。また、選択案内や学習タイプのチェック表を活用して、少しでも児童の適性に合ったコース選択ができるよう配慮した。

(三) 「卒業論」の実施

小單元指導計画の再構成による授業設計では、時間的に十分な追究活動ができにくいので、冬休みを利用して卒業論文(課題設定モデル)に取り組ませることにした。

(四) カルテにもとづいたノート指導

「社会科学学習個人カルテ」を作成し、ノート指導を中心に活用した。カルテについては、変わりゆく児童の姿を長い目でみていく一つの手だてと考えた。

五、実践の考察

(第六学年の授業の事例をもとに)

(一) 小單元名『わたしたちの生活と政治』 (資料1)

(二) 単元目標 (内容省略)

(三) 指導の重点

本小單元では、「わたしたちの生活